

拝啓 残暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度はお忙しいところ、研究室訪問をお引き受けいただきありがとうございます。誠にありがとうございました。我々生徒一同、先生の貴重なお話を伺うことができて、大変光栄でした。

スマホの性能が上がった背景について、今まで詳しく聞いたことがなかったのですが、先生のお話を伺い、中のトランジスタを小型化し、量を増やすという発想には、驚かされました。

また、細く尖った針を使い、電流から物質の表面の凹凸を、知ることができるといってお話には非常に感動しました。

さらに、研究室の学生の方々とお話しする時間も設けていただき、ここでは真空をつくりその中で、物質の表面を加工できる装置を見せていただいたり、分子の模型を用いた説明をしていただきました。

今回の研修で学んだことを、日々の生活に活かし、さらに受験やその先の将来について考えるところなどにも、役立てていきたいと思います。

末筆ではございますが、研究室のますますのご発展を心よりお祈

リ申し上げます。

敬具

平成二十九年八月吉日

工浦第一高等学校

東京大学研究室訪問

代表 小
:
:

長谷川修司先生

研究室の皆様